

株式会社 沖縄クボタ化成

1.事業概要

住所	〒904-2234 沖縄県うるま市字州崎12番91
従業員数	16名(2021年12月現在)
敷地面積	4,700㎡
事業内容	硬質ポリ塩化ビニル管の製造



主要製品

水道用 VP管・HI・VP管(耐衝撃性管)
 一般用 VP管・SGR-NA管・TS管(接着圧力輸送管)
 無圧用 VU管(薄肉管)・SRA管・TS管(接着無圧輸送管)

工場変遷(沿革)

平成27年7月 (2015) 沖縄ダイカポリマー株式会社設立
 平成28年7月 (2016) 日本工業規格 JIS K6741 6742取得
 平成28年10月 (2016) 日本水道協会の検査工場として認可
 平成28年11月 (2016) 日本下水道協会の下水道用機材製造工場として認可
 沖縄県工業連合会県産品認証取得
 平成29年10月 (2017) 株式会社クボタケミックスの子会社となる
 平成30年1月 (2018) 社名を「沖縄クボタ化成株式会社」に変更
 令和2年3月 (2020) ISO14001:2015 認証取得(日本科学技術連盟 JUSE-EG-118)
 株式会社クボタケミックスとEMS統合

2.環境方針

ISO環境方針

クボタケミックスグループ 環境方針

クボタケミックスグループは、合成樹脂を原料として、社会生活に必要な水道管、下水道管などのライフラインを社会に提供しています。
その活動において、地球環境の保全が人類全体の課題であり、企業にとってその対応が重要な責務である事を認識し、環境保全に不断の努力を行います。

【理念】

- ・私たちは、地球規模で持続的な発展が可能な社会の実現をめざします。
- ・私たちは、環境に配慮した製品・技術・サービス・企業活動を通じて、地球環境・地域環境の保全に貢献します。

【方針】

1. 製品の設計・開発、生産、販売、物流、サービスまでのすべての段階において、環境保全に積極的に取り組みます。また、環境マネジメントシステムを導入し、自主的・具体的な目標と行動計画を定めて、日常の業務を推進し、継続的に改善する事によって、長期的で幅広い観点から環境負荷の継続的改善に努めます。
2. 社会の持続的な発展に寄与できる製品の開発ならびに製造を推進するとともに環境リスクの低減及び環境汚染の未然防止に努めます。
3. 自然環境や生物多様性に配慮した企業活動に努めます。
4. 環境関連法、条例、協定及び当社が同意したその他の要求事項を遵守し、取引先に対しても、環境保全活動への理解と協力を求めます。
5. この環境方針を実践するため、環境保全中期実施計画達成に向けて、その実施状況を定期的に確認し、環境マネジメントプログラム計画の見直しを行います。
6. この環境方針を、当社で働く人、当社の為に働く人 及び 取引先に周知させると共に、各人が日常生活においても環境に配慮した行動を行うよう、環境意識の向上に努めます。
7. 地域での環境保全活動への参画、支援に積極的に取り組み、地域との共生に努めます。また、この環境方針は、私たちの姿勢を理解していただくため、一般の人にも入手可能とします。

2021年4月1日

株式会社クボタケミックス
ものづくり本部長

武井 秀樹

ISO認証取得状況

- | | |
|--------------|------------------------------------|
| 令和2年3月(2020) | ISO14001:2015取得、株式会社クボタケミックスとEMS統合 |
| 令和2年4月(2020) | ISO9001:2015取得、株式会社クボタケミックスとQMS統合 |

株式会社 沖縄クボタ化成

3. サイトデータ(2020年1月～12月の実績)

INPUT

エネルギー使用量	原油換算 KL	187
水使用量	万m ³	1.2

OUTPUT

エネルギー起源CO ₂ 排出量	t-CO ₂	535
----------------------------	-------------------	-----

排出ガス	主要ばい煙発生施設		—		
	項目	単位	規制内容	規制値	測定値
SOx	—		ばい煙施設なし		
NOx	—				
ばいじん	—				

排水量	合計量	万m ³	1.2
汚濁負荷量	COD	kg/年	—
	窒素	kg/年	—
	りん	kg/年	—

排水	放流先	項目	単位	末端排水口			
				規制値	測定値		
公共用水域		pH	最小値, 最大値	—	—		
		BOD	mg/l	—	—		
		COD	mg/l	—	—		
		窒素	mg/l	—	—		
		りん	mg/l	—	—		
		六価クロム	mg/l	—	—		
		鉛	mg/l	—	—		
		COD総量規制値	kg/日	—	—		
		窒素総量規制値	kg/日	—	—		
		りん総量規制値	kg/日	—	—		
		下水道		pH	最小値, 最大値	特定施設なし	
				BOD	mg/l		
				COD	mg/l		
SS	mg/l						

※下水排水量が50t/日に満たないため、下水道法及び水質汚濁防止法の対象事業場に該当しない

廃棄物排出量	t	16.0
再資源化率	%	61.6

VOC排出量	t	—
--------	---	---

PRTR法対象物質集計結果

単位: kg/年

政令No.	物質名称	排出量				移動量	
		大気	公共用水域	土壌	自社埋立	場外移動	下水道
—	届出対象なし	—	—	—	—	—	—

※ 拠点ごとの年間取扱量が1t(特定第1種は0.5t)以上の物質について集計

4.環境トピックス

1)緊急事態訓練(火災)

消火栓及び消火器の使用方法の説明と設置場所の確認を行った。

2)緊急事態訓練(油流出)

フォークリフトへの給油事故により排水溝を経由した工場敷地外への流出防止訓練を行った。



3)省エネ活動においては、稼働不良率削減をする事で活動を推進しています。

あわせて、生産時の吐出量アップにより、稼働時間の短縮を行い、省エネに繋がっています。

5.環境コミュニケーション

① 地域美化活動

名称 中城湾港新湾地区クリーン活動
主催 中城湾港新湾地区協議会
参加人数 7名
実施内容 中城湾港企業単位での工場周辺の清掃活動を行った。
日付 2021年12月



清掃活動の様子